

イカナゴ情報 No.1 (2025 年 5 月)



令和 7 年 5 月 26 日

道総研

道総研稚内水産試験場調査研究部 (担当: 佐藤) Tel. 0162-32-7166

宗谷海峡周辺において主に沖合底びき網により 6~9 月に漁獲されるイカナゴ類¹の漁獲物調査と漁場環境調査の結果についてお知らせします。

海洋観測: 漁場 (水深 40~80 m) の底層水温はやや高め

宗谷海峡東方海域において 5 月 21~22 日に試験調査船北洋丸によるイカナゴ類漁場の環境調査を行いました (図 1: 2025 年のライン C は IS17~IS18 まで観測)。観測ラインの水温鉛直断面図をみると、ライン A ではオッタートロールの主漁場となる IS02 より沖側 (水深 40 m 以深) の海域は水温 8℃以下の水塊が占めていました。ライン B、C ではかけまわしの主漁場となる IS11 や IS18 より沖側 (水深 50 m 以深) では水温 10℃以下の水塊が漁場全体を占めていました (図 2)。2025 年度の底層水温の分布をみると、昨年よりも沿岸の広い範囲に暖水が分布しています (図 3)。2025 年度のイカナゴ漁場 (水深 40~80 m) の底層水温は、昨年に比べて全域でやや高めの水温でした。

魚探観測: イカナゴ類とみられる反応はほとんど確認できず

海洋観測と同じラインで魚探観測を実施しました (図 4)。ライン A 水深 60 m 付近の 1 カ所のみでイカナゴ類とみられる魚群を確認しましたが、それ以外ではイカナゴ類とみられる魚群は確認できませんでした。昨年度の速報で示したような形状や分布水深がイカナゴ類に似た反応に関しても、今回の調査ではほとんど見られませんでした。

漁獲物組成: イカナゴ類はほとんど漁獲されず

ライン A の IS02 西 (水深 60 m)、IS02~IS03 間 (水深 70 m)、IS03~IS04 間 (水深 70~80 m) で、オッタートロールによりイカナゴ類の採集を行いました。イカナゴ類の入網は IS02 西での 27 匹のみで、他の調査点ではイカナゴ類は入網しませんでした。イカナゴ類以外の漁獲物は主にカジカ・カスベ・カレイ類で、昨年多く漁獲されたニシンは今年度に関しては全く見られませんでした。漁獲されたイカナゴ類の体長組成は 15~25 cm の範囲と幅広く、特定のピークは見られませんでした (図 5)。

¹ イカナゴ類にはイカナゴ、オオイカナゴ、キタイカナゴの 3 種が含まれる (Orr *et al.*, 2015)

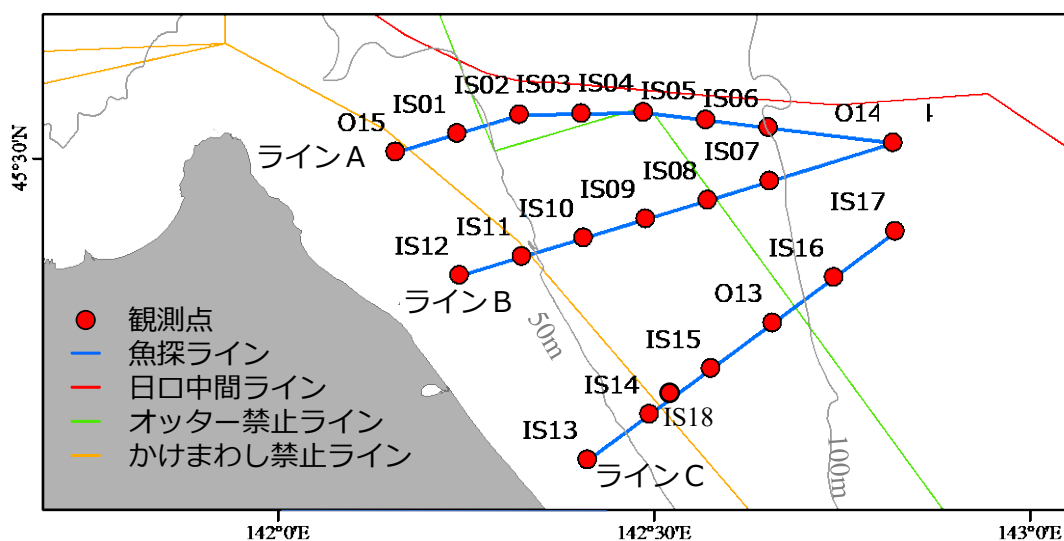


図 1. 海洋観測・魚探観測ラインの位置

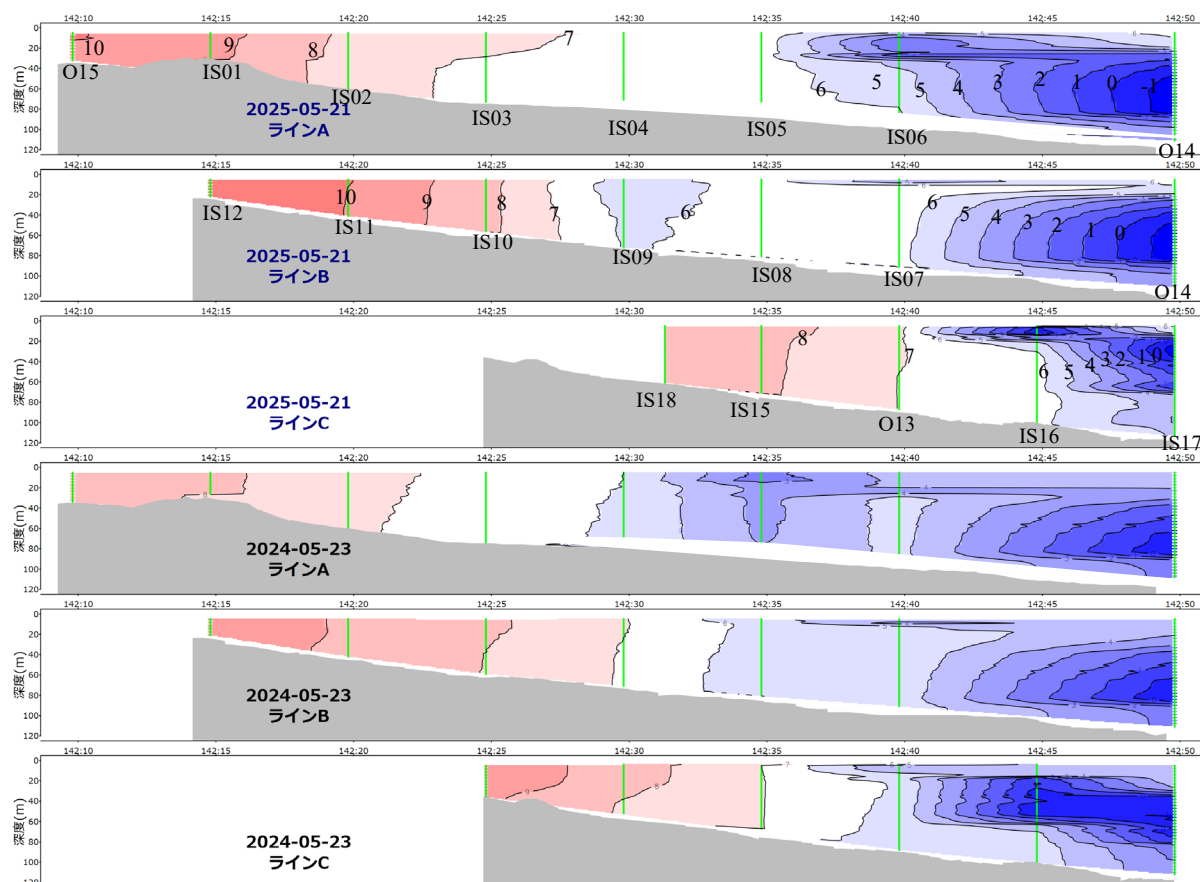


図 2. 2024・25 年の各調査ラインの水溫鉛直分布

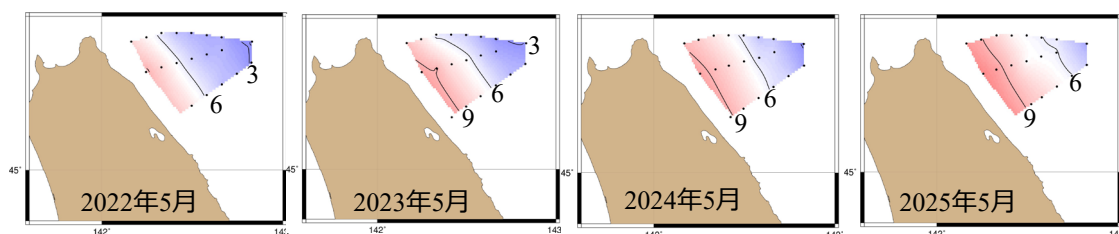


図 3. 2022～25 年の調査海域における底層水溫の水平分布。

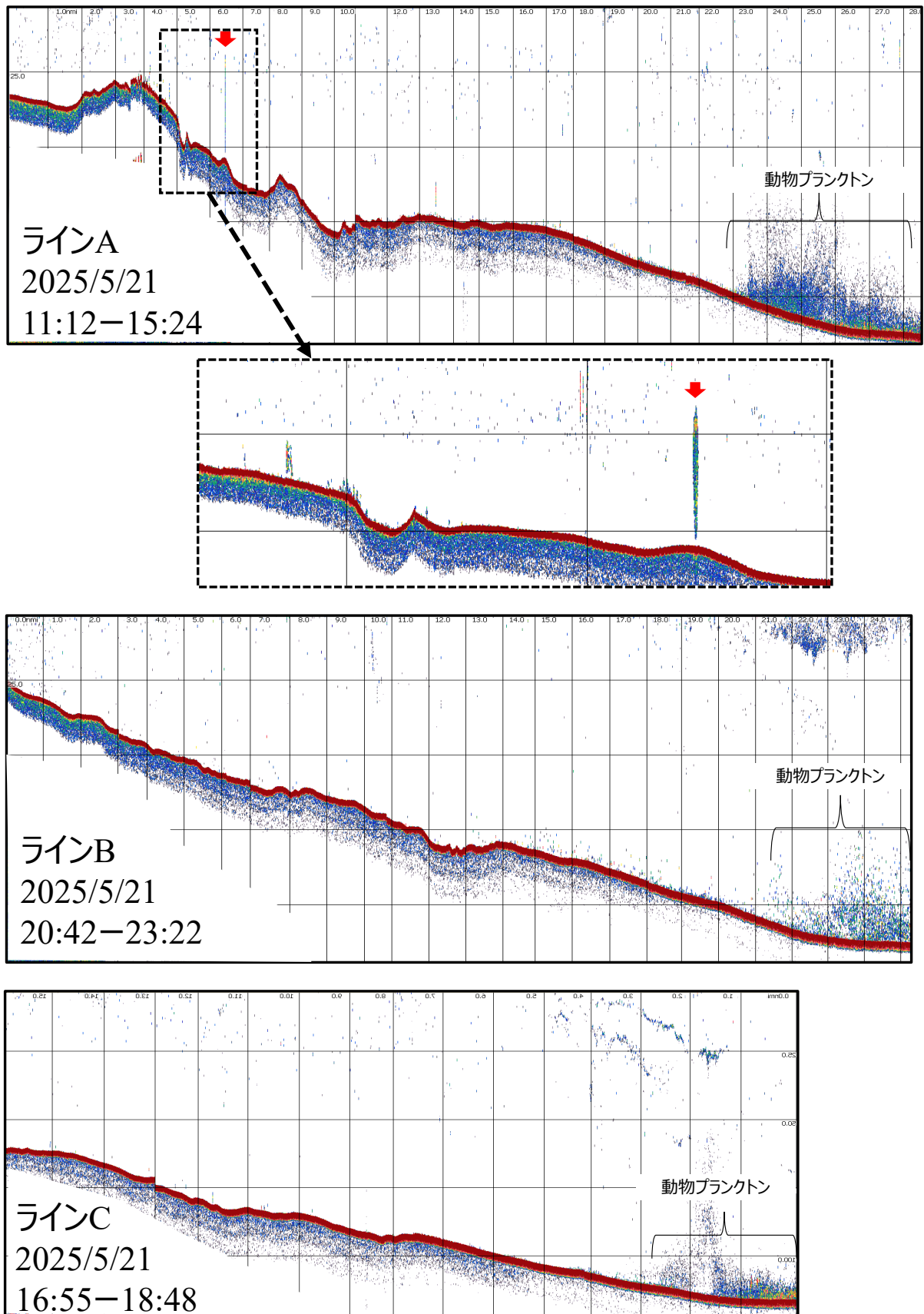


図 4. 観測ライン A・B・C における魚探反応. ライン A 下図は上図中黒点線枠内の拡大図. イカナゴ類とみられる魚群反応を赤矢印で示した.

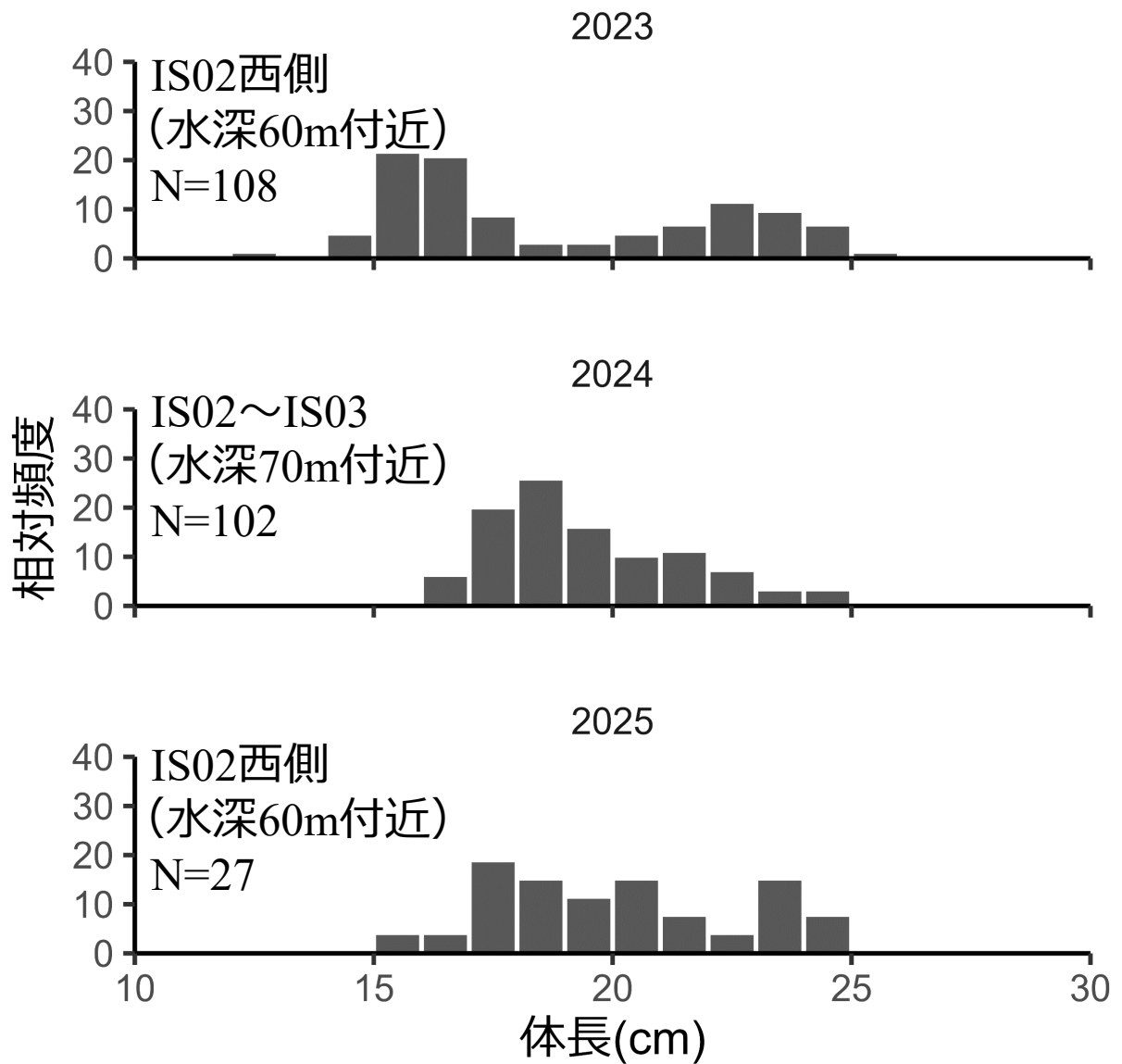


図 5. オッタートロールで採集したイカナゴ類の体長組成.